

# 母子草

発行所  
水戸市八幡町 11-52  
ラーク・ハイツ内  
社会福祉法人  
茨城県母子寡婦福祉連合会  
029 (221) 7505  
編集発行者  
境 洋子

第530号



県母連は共同基金会の受配団体です。



## 新年のご挨拶

社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会 会長 境 洋子

卯の年の幕開け、誠におめでとうございます。

皆様方におかれましても、穏やかに健やかに新年を迎えたこととお慶び申し上げます。茨城県母子寡婦福祉連合会の活動に対しましては、日頃から深いご理解とご協力をいただいているところであり、心より御礼申し上げます。

昨年は、コロナ感染の影響が継続・拡大する中、ウクライナ戦争が勃発し、緊張する1年となりました。そのような中でも、緊急事態宣言等の自粛要請は発動されることなくコロナウィルスとの共存の生活が続けられております。8月には、3年ぶりとなる第72回茨城県母子寡婦福祉大会の開催、10月には親子すこやか交流宿泊研修を実施、各市町村母子寡婦福祉会の日帰り研修事業も感染対策をしっかりと取りながら数多く実施されている状況でございます。

一方、燃料や農産物等の生活に不可欠な食料、日用品の値上がりが続ぎ、私たち母子家庭の家計を圧迫しています。県からは、ひとり親家庭を支援するための独自の給付金を2度にわたり支給していただくなど、

大変心強く感じているところです。また、養育費等支援事業の拡充についてもご検討いただいております、厚く御礼申し上げます。

市町村の各母子寡婦福祉会におきましては、高齢化や若い母子家庭の入会者減少などにより、組織の弱体化が危惧されています。先人たちの偉業を忘れることなくこの会を継続していくためにも、会員が一丸となって信頼され頼られる団体となるよう新年の新たな思いの中、母子寡婦福祉の向上に努めてまいる決意です。

昨年11月には、東海村母子寡婦福祉会及び当連合会における活動が評価され、叙勲の栄誉を賜うことができました。これは私一人の成果ではなく、ひとり親家庭のために共に歩んできた皆様方及び市町村母子寡婦福祉会・県連合会の協力・協働の賜物であり、皆様方の長年のご労苦全てが栄誉につながったものと、深く感じております。今後とも、なお一層、精一杯の力を尽くしていく所存でございます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、飛躍の卯年のごあいさつといたします。



## 新年のご挨拶

茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃から、ひとり親家庭や寡婦の方々への福祉の向上にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、我々を長く苦しめている新型コロナウイルス感染症は、感染症対策やウイルスの特性の変化などにより、現在では重症化率が大幅に低下し、コロナと共生し社会経済活動の正常化を目指す段階へと、対策も大きな転換期を迎えております。

一方で、昨年は、ロシアによるウクライナ侵略や世

界的な物価高騰、歴史的な円安などの誰も想定しえなかった出来事が相次いで発生いたしました。さらには、日本の出生数は過去最少となるなど、急速に人口減少が進み、私たちは、過去の延長線上に未来は存在しない、まさに先の見えない「非連続の時代」の只中にあります。

こうした状況では、常に挑戦する気概を持ち、今、何が求められているのかを自ら考え、仮説を立て、新しいことに果敢に挑戦し、未来を切り拓いていくことが極めて重要でありますことから、「挑戦」「スピード

感」「選択と集中」を基本姿勢として、コロナ対策や経済対策を速やかに実施するとともに、困難な課題も先送りすることなく取り組んでおります。

母子寡婦福祉につきましても、コロナ禍の影響や物価高騰により、厳しい状況にあるひとり親家庭を支援するため、昨年は2度にわたり本県独自の給付金を支給するとともに、養育費の確保に向けた相談支援体制の強化に取り組んでまいりました。

県といたしましては、今後も、ひとり親家庭等の生

活の安定と自立促進を図るため、児童扶養手当の支給や福祉資金の貸付などの経済的支援はもとより、子育てや生活全般、就業等に係る相談から就労・自立に至るまでの総合的な支援サービスの向上などに力を入れてまいりますので、皆様方には、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、茨城県母子寡婦福祉連合会の益々のご発展と、皆様方にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

## 県北・県西ブロックだより

### 秋の果物狩りと霞ヶ浦観光帆引き船見学

日立市母子寡婦福祉連絡会

母子部長 篠木美佳

コロナ禍も3年が過ぎようとしている中、企画しては中止を繰り返してきたバス旅行でしたが、感染状況が落ち着いてきたこともあり予想を上回る希望者が集まったので、「今年は中止せずに行きましょう」と決行することになりました。

10月16日、絶好の行楽日和の秋晴れ。母子寡婦会員33名が、県南地方へ出発しました。

まずは、かすみがうら市にて梨狩り。子どもの頭ほどもありそうな大きな梨「にっこり」をもいで皮をむき、ほおばるとみずみずしく甘い果汁とシャクシャクと鮮度抜群の食感で大満足。「これにする？こっちが良い？」と品定めしつつ、その場で食べたり買って帰るものをかごに入れたりして、皆さんの笑顔を見ることができてホッとしました。

次は、イオンモール土浦へ。費用を抑えるため自由昼食としましたが、皆さん食事やショッピングなど思い思いに楽しめたようで、かえって良い結果になったと思います。

そして、茨城県民でも見たことのない方は多いはずの、霞ヶ浦帆引き船の見学。観光船に乗り沖合まで航行すると、青い空と湖面に真っ白な帆が大きく膨らんでいる2艘の帆

引き船が見えてきました。それぞれの船の周りをゆっくりとまわって、帆を操る船乗りさんたちの顔がはっきり見えるほど間近で帆引き船を見学できました。土浦からの観光船は、この日が今シーズン最終ということ、いつもより長い時間まわってくれたそうです。

コロナ禍以前と異なり、行き先を県内としたことで会員さんたちはどう感じるだろうかと心配でしたが、参加者同士で話をしたり、年上の子が小さい子の相手をする微笑ましい姿なども見られ、楽しい時間を過ごせました。茨城県の良さを再発見できたことと、移動時間が短い点も良かったと思います。



### 寡婦研修に参加して

高萩市母子寡婦福祉会

田所高子

コロナ禍によって、子どもたちの親子すこやかなのディズニー旅行等も中止されている中、寡婦の研修が計画されました。10月20日、13名の参加者のもと、高萩市文化会館前を8時30分に小型バスにて出発。車窓の景色も秋の紅葉が感じられ私達高齢者の心を久しくはずませてくれました。

約2時間ほどで石岡市のフラワーパークに到着。900品種もあると言われる秋バラ。賑やかな春バラと比較して香りもよくしっとりと落ちついて癒されました。また、秋が深まると共に見頃を迎えるダリアの花が愛らしく見事でした。

広い庭園歩きは疲れますので2台の周遊車で回りました。また、夜の演出があるそうで10月15日から12月30日まで、光に浮かびあがる夜のバラ園、光とつながるアーチやトンネル、星空ブランコ等々数々の夜の美しさも是非見たいと感じました。しかし、これは残念ながらかないませんでした。

昼食はゆっくり時間をとり、



一の矢さんと和食膳を大変おいしくいただきました。次は、牛久市にある大仏立像の見学です。高さ120メートルと世界で6番目、ブロンズ像としては世界最大、コスモスの花等が咲き乱れる浄土庭園内にあり、公園墓地にもなっています。立像の顔の長さ20メートル、口の長さ4メートル、鼻の長さ1.2メートル、耳の長さ10メートル、それはあまりに大きく見上げるのみ、驚いてしまいました。中に入ると5階まであって、パネル展示等があり、歴史や仏教につ

いて学ぶことができました。3階には多くの仏像を納めて、東本願寺が永大供養をしているのです。聖なる空間を感じました。

歩く所が多く疲れを感じながらも頑張って歩きました。帰りは仲間との会話も楽しく、午後4時半頃無事戻りました。寡婦の研修も高齢化に向かい、今後の活動計画に充分考慮しなければと思います。コロナ禍の中での生活、お互いの健康を願いながら帰途につきました。

## 親子すこやか宿泊研修に大喜び

北茨城市母子寡婦福祉会

荒 川 藍

今回、前会長のきよこさんにお誘いいただき、初めて親子すこやか宿泊研修に参加させていただきました。

親と子で各々別れ、親である私たちは他の参加者の方とたくさん意見を交換したり、同じ子育ての悩みを共感できたりと、とても素晴らしい時間を過ごすことができ良かったなと感じています。

その間、子どもたちは新しいお友だちと体を動かして遊んだり物を作って遊んだりと楽しい時間を過ごすことができました。翌日は、自分たちで作るカレーに大喜び！普段できない、飯ごう炊きだったり、火おこし、野菜を切ったり、「外で作る、皆で作る」ということが、とても新鮮だっ

たようで、「自分たちが作ったカレーが一番おいしい!!」と大喜びでした。普段、体験できないようなことを、たくさん体験したり学んだりとてもいい時間を過ごすことができました。

子どもたちのためにと、こういった企画を考えていただき、ありがとうございました。また、ぜひ参加したいと思っています。



## 常陸大宮市活動報告

常陸大宮市母子寡婦福祉会

母子部長 小 林 由 香

常陸大宮市では夏の親子レクリエーションを行いました。親子すこやか交流事業の助成を利用して、八景島シーパラダイスへ行ってきました。コロナ禍で中々お出掛けもできない中での親子レクリエーションは、子どもたちの笑顔をとくさん見ることができ感謝しています。

他には「ぼしかふ応援プロジェクト」として、フードバンクさんや地域のお店の方々の協力のもと、会員のみな

さんにお米やお菓子など食品を配布することができました。会員のみなさんからの多数の感謝のコメントが届いており、うれしく思っています。

令和5年1月には日頃から支援をしてくださっている「おのみや元気食堂」さんとの初コラボも予定しており、今から楽しみ！というご意見もいただいています。

会員数も4月には11世帯でしたが、12月時点で18世帯と増えました。

いろいろと制限されている中ではありますが、会員のみなさんに少しでも喜んでもらえるように、そして気軽に集まれて子育ての相談などがみんなのできるように、今できることを工夫して協力し合いながら活動していきたいと思っています。

## クリスマス会に参加して

常総市母子寡婦福祉会

森 合 玲 奈

12月11日、今年も恒例の常総市母子寡婦会主催のクリスマス会がありました。

毎年、クリスマス会では、子どもたちの喜ぶゲームやビンゴを行ったり寡婦の方々による豚汁がふるまわれたりと、色々なイベントを行ってきましたが、今年は、10月から増加傾向が続いてきた新型コロナ「第8波」の中での開催でした。体調を崩し参加できなかった方がいたり、ゲームができなかったり、そんな制限のある中でも、会長や役員の方々子どもたちのため、会場に可愛い飾り付けをして、沢山のプレゼントの用意やスペシャルゲストを招いてクリスマス会を開催してくれました。

特に、スペシャルゲストとして来てくださったウクライナから避難してきた歌手「イリーナさん」による歌とダンスはとても盛り上がり、子どもたちも大喜びでした。

コロナ禍となり、いつ収束するかわからない不安な日々が続く、様々な学校行事やイベントの制限のある状況の中でもできることを探し、活動を進めていければ良いなと思っています。



## 下妻市母子寡婦福祉会活動報告

下妻市母子寡婦福祉会

会長 塚 田 純 子

令和4年もコロナ禍が長引く中で、毎月第一土曜日に実施するフードバンクが主な活動となっています。パンの支給はとても助かっていますが、土曜日の日中ということもあり参加できない方も多くいらっしゃいます。フードバンク以外の機会にできるだけ多くの方に参加していただきたいという思いで、今年度は12月にクリスマス会を開催しました。

参加される全員の方に楽しんでいただけるよう、役員で分担し準備を進めました。当日は会員以外の方も含め20名の参加者が集まりました。クリスマスにちなんだバルーンアート作りを計画し、先生方に教わりながら雪だるまを作りました。それぞれ可愛い雪だるまができました。先生からサンタさんのバルーンアートのお土産もありました。母子会からは全員にプレゼントとお弁当をお配りしま

した。会場の都合でお弁当は持ち帰りだったため、両手いっぱいのお土産にみなさんとても喜ばれていました。母子会のPRをすることもできて、新しく入会された方もいらっしゃいました。会員全員の参加とはなりませんでした。が、とても楽しいクリスマス会となり大変嬉しく思っています。

今回初めて会長になり慣れないことが多くで大変ではありましたが、お仕事の都合等でなかなか活動に参加できない方が多くいらっしゃることに気付かされました。今後も感染対策を行いながら、できるだけ多くの活動の機会を設けられれば良いなと思っています。



## 坂東市母子寡婦福祉会の紹介

坂東市母子寡婦福祉会

私たち母子寡婦福祉会は、平成18年4月より、旧猿島町、旧岩井市の合併に伴い坂東市母子寡婦福祉会として設立し、現在に至っております。

これまでの事業として、他市町を招待し盛大に実施された演芸大会や親子で参加するディズニーランドでの交流会、行政の協力によりバスでの1泊研修や日帰り研修など、様々な事業を行ってまいりました。

しかし、ここ数年はコロナ禍により思うような活動ができなくなり、会自体の存続の不安を感じるまでになりました。現在もコロナウイルスの感染状況に落ち着きは見られませんが、今年度は感染対策を十分とりながら12月4日に親子すこやか交流会を開催することができました。会員に限らず、市内の母子家庭の方々の参加もあり、楽しい時間を過ごす中で新しい会員を増やすことができました。ま

た、今後予定の新入学児童祝品贈呈式でも、新しい会員が増えるきっかけになってほしいと願っております。

新型コロナウイルスの感染状況は、未だ終息が見通せず長期化しておりますが、コロナ禍でもできることを考えながら、会の発展に向け、ニーズに合った事業の企画を提案していきたいと思っております。また、会員一人一人にとって不安や悩みが少しでも改善できるような「居心地の良い場所」となるよう、日々活動していきたいと考えています。



## 親子すこやか交流(日帰り)旅行

境町母子寡婦福祉会

会長 諏 訪 恵 子

ここ数年は、コロナ禍により、以前のような交流事業が中止となっていました。3年間活動することができませんでしたが、9月23日(金)「ディズニーシーへお出かけだ!」親子すこやか交流(日帰り)研修事業をやっと実施することができました。

参加者を集うと子ども17名、保護者9名、関係機関2名と合計28名が集まりました。

出発する朝は、雨でした。バスの中では飲食禁止・マスク装着・換気などのコロナ対策をしながらも楽しく一日を過ごすことができ、到着すると雨はやみみました。この研修事業により、新会員も1名増えました。

今回、このような事業ができたことに会長としてうれ

く、交流の楽しさを再確認することができました。

今後も、親子で楽しむ事業についてこの助成制度を利用させていただきたいと思っています。感染防止と安全面をしっかりと考えた企画を実現すべく、役員一同で検討し活動していきます。



## お知らせ広場

## 親子すこやか宿泊研修に参加して

守谷市 園 田 恵里子

秋の気配を感じる10月初旬、水戸市少年自然の家にて宿泊研修に参加して来ました。参加しようと思った理由は、2つあります。

1つ目は、子どもと久しぶりに規則正しい時間を過ごしたいから。

2つ目は、地元茨城のひとり親の方々と知り合いになりたかったから、です。

普段、都内へ往復3時間以上かけて通勤しているので、常々、子どもとの時間や地元の友人を増やしたいと思っていました。そうは言っても、私の住まいから水戸は遠く、何となく「宿泊研修」と言うだけあって、ルールに厳しくお堅いイメージ（ごめんなさい）が抜け切らず直前まで迷っていたのですが、参加して良かった！ 大正解でした!!

初日は親と子に分かれ、子どもたちは体育館でレクリエーション、親は会議室にて自己紹介や日常生活での困り事等を共有。夕食後はビンゴゲームを楽

しました。子どもも初めて会うお友達とすぐに打ち解け、就寝時間ギリギリまで大騒ぎ。同室になったママさんとも本音トーク炸裂でデトックス完了！

翌日はグループに分かれて、薪から火を起こしてのカレー作り。美味しくいただき、解散となりました。

様々な事情でひとり親となった私達。自分の置かれた環境に、時にココロ折れそうなことも正直あります。今回、茨城各地の皆様と出会えたことは、私にとってのお宝となり、拠り所が増えた喜びを感じています。

最後に、本イベントを企画運営くださった母子寡婦連合会の方々に最大限の感謝の意を表します。同時に子どもの笑顔を守るためにも、我々ひとり親ができることを、連合会を中心に問題解決できたら素敵だなと思いました（身近に連合会があればマッチベターなのですが）。

皆さん、2日間ありがとうございました！

またお会いしましょう！

## 家庭生活支援員養成講習会を終えて

利根町 川 上 友 里

私は、橋本祥子先生の講習が一番印象に残りました。ジェームズ・J・ヘックマンの幼児教育の経済学より認知能力よりも「非認知能力の情動指数に対する育成」が重要だということでした。それは、子どもが少しでも不安を感じずに生きていける力や自分の願いを諦めずに実現させることのできる能力がとても大切なことなのです。

生まれた時から学童期まで、ありのままを受入れ

自己決定の場を多くつくり、自己肯定感を持てるように子どもの話を聞いて会話になるように見守る場を多くしていかなければならないという重要性を学びました。当たり前のように毎日顔を合わせる日々の中、子どもの目を見て話をすることを忘れていたのです。

今後、支援員として仕事をするうえで最も大切だと思い、忘れないようにしていきたいと思っています。色々学べて勉強になりました。

## 夢を応援基金 ひとり親家庭支援奨学金制度 奨学生募集



「一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会」とローソングループが力を合わせ、ひとり親家庭の生徒さんを給付型奨学金で応援します。詳しくは「全母子協」ホームページを検索してください。

全母子協

検索

申込は、社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会 で受付いたします。

## 令和5年度県母連主要行事予定

月	主な事業等	月	主な事業等	月	主な事業等
4	○辞令交付式(4/3) ○夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金」(申請受付)	5	○監事監査 ○理事会 ○観劇 ○高等職業訓練促進資金貸付金(就職準備金申請受付)	6	○評議員会 ○第531号母子草発行 ○介護職員初任者研修(6月~10月)
7	○理事会及び表彰審査会 ○高等職業訓練促進資金貸付金(入学準備金申請受付) ○パソコン講習会(予定)	8	○第73回茨城県母子寡婦福祉大会(8/31ザ・ヒロサワ・シティ会館) ○パソコン講習会(予定)	9	○親子すこやか宿泊研修(9/30~10/1 水戸少年自然の家) ○関東地区母子寡婦福祉研修大会
10	○第532号母子草発行 ○家庭生活支援員養成講座 ○若年母子家庭セミナー	11	○全国母子寡婦福祉研修大会	12	○観劇 ○愛の一元玉募金活動 ○シクラメン販売 ○調剤薬局事務講座
1	○新年懇談会 ○第533号母子草発行	2	○市町村母子寡婦福祉指導者等研修会 ○県母子部長等会議	3	○全国母子部長研修会 ○全国母子寡婦福祉指導者研修会 ○理事会 ○評議員会

### 資格を生かしてひとり親家庭の日常生活をサポートしてみませんか？

保育士やヘルパー、介護福祉士の資格をお持ちの方であれば、一時的に家事や子育てが困難になったひとり親家庭を有償ボランティアとしてサポートできます！

活動には家庭生活支援員としての登録が必要になりますので、お気軽にご連絡ください。資格をお持ちのお知り合いの方もいらっしゃいましたら、ぜひお声かけてみてください。

**連絡先** 社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会 母子・父子福祉センター  
029-221-8497 (平日8:30~17:15)



### 編集後記

- ◇令和4年が過ぎた。新しい元号になって、浮かれていたのは8カ月のみ、令和2年1月からはコロナ感染に翻弄され続けている。さらに、昨年の漢字一字は「戦」、侵略されているウクライナでは間違いなく母子家庭が増えているだろう。第2次世界大戦終了後の日本でもあったように、男たちが行った愚行により女たちは苦しい毎日を強いられる。しかし、その中で確実に女性は強くなり、最近告白するのは女性からが多いそう。男が下手に動くとも女性は逃げていく、そんな時代だ。
- ◇昨年、唯一めでたい話は会長の叙勲受賞。旭日双光章、おめでとうございました。色んな事があるものだと驚きつつ、職員や入所者のコロナ感染でアタフタするよりは、ずっと楽しいアタフタです。今年も良いことがありますように…… (事務局長)

### 母子会加入のお知らせ

各市町村の母子会では、新しい仲間を募集しています。

あなたもお近くの母子会に入って、一緒に事業に参加しませんか。

#### お問い合わせ

(社福)茨城県母子寡婦福祉連合会

TEL029-221-7505

<https://www.ibaboren.or.jp>

